

仕様書

- 1 件名
草加市消防団員用被服類の購入（単価契約）
- 2 履行期間
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
- 3 納品場所
草加市神明二丁目2番2号
草加八潮消防組合 草加消防署管理課
- 4 積算方法
発注予定数をもとに、契約単価を見積もること。
- 5 支払方法
契約単価に発注数を乗じた金額に消費税及び地方消費税を加えて、納品確認後、その都度支払うものとする。
- 6 品目及び発注予定数
別添1のとおり
- 7 概要規格等
 - (1) 各品目の規格等については、消防団員服制基準（昭和25年国家公安委員会告示第1号）に定めるもののほか、別添2によるものとする。
 - (2) 使用素材は良質なものを使用し、製作工程における適正な品質管理を図ること。
- 8 検収
 - (1) 納入時、組合担当者、受注者双方立会いのもと、納入場所にて検収を行う。
 - (2) 納入時において仕様書及び組合担当者が指示したとおりでない場合、受注者は速やかに、仕様書及び組合担当者の指示事項を満たすために必要な措置を無償で講じること。

9 その他

- (1) 納入等に必要経費は、受注者負担とする。
- (2) 仕様書を熟読し、付属品等を確認すること。
- (3) 履行に際し疑義が生じた場合は、その都度発注者に連絡し協議すること。
- (4) 廃棄梱包材等の発生材は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき適正に処理すること。
- (5) 納入日程及び時間調整については、事前に発注者と協議し決定すること。
- (6) 本仕様書に記載した規格等については、必要最低限の規格等を記載したものであり、同等品（基本的な機能、性能及び規格等の仕様が必要最低限の物品であって、使用目的を遂行する上で同一の需要を満たすもの）かそれ以上で代替する場合は、組合担当者へカタログ、承認図等を持参した上で説明するとともに、同等品規格確認票を事前に提出し、承諾を得ること。
- (7) サイズ交換
サイズが合わない等、不具合が生じた場合は、受注者がサイズ交換に応じること。
- (8) 採寸等
 - ア 採寸は、受注者がサイズ見本を持参し実施すること。
 - イ 採寸の日時及び場所は、発注者の指示に従うこと。
 - ウ ズボン丈、袖丈の延長等、見本以外のサイズにも対応すること。
 - エ ズボン丈、袖丈等は、受注者が調整すること。
 - オ 既製サイズ以外のサイズにも柔軟に対応すること。
- (9) 個人情報保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び別記外部委託における情報セキュリティ遵守事項を遵守すること。また、業務上知り得た事項を漏らしてはならない。
- (10) 不当要求等に関し、次の事項を遵守すること。
 - ア 受注者及び受注者の下請業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、組合管理者に報告するとともに、所轄の警察署に通報すること。
 - イ 受注者は、組合及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。

(11) 業務完了後は、速やかに納品書又は納入完了報告書を提出すること。

10 問い合わせ先

草加八潮消防組合 草加消防署管理課

電話 048-924-2116 (直通)

別添1

品目及び発注予定数

番号	品目	数量	単位
1	男性団員用 制帽・冬	24	個
2	男性団員用 制帽・夏	1	個
3	男性団員用 制服上衣・冬	24	着
4	男性団員用 制服下衣・冬	24	着
5	男性団員用 制服上衣・夏	1	着
6	男性団員用 制服下衣・夏	1	着
7	男性団員用 ワイシャツ	24	着
8	男性団員用 外とう	24	着
9	男性団員用 ネクタイ	24	本
10	女性団員用 制帽・冬	2	個
11	女性団員用 制服上衣・冬	2	着
12	女性団員用 制服下衣・冬	2	着
13	女性団員用 ブラウス	2	着
14	女性団員用 外とうブルゾン	2	着
15	女性団員用 ネクタイ	2	本
16	活動服上衣	26	着
17	活動服下衣	26	着
18	バンド制服用	26	本
19	バンド活動服用	26	本
20	樹脂製階級章	52	個
21	保安帽	26	個
22	作業帽	26	個
23	白手袋	26	双
24	標示章	52	個
25	制帽周章	1	個
26	制服周章	1	個
27	保安帽周章	2	個
28	革手袋	26	双
29	襟章	26	個

別添2

1 男性団員用 制帽・冬

材料	帽部	ニッケサージ (No.8500) 黒色又は同色、同品質以上のものとする。
	前ひさし及びあごひも	黒色合成樹脂
	ボタン	金属製消防団マーク入り 12mm

2 男性団員用 制帽・夏

材料	帽部	トロピカル (TKM300) 濃紺 男性団員用制服下衣 (夏) と同色とする
	前ひさし及びあごひも	黒色合成樹脂
	ボタン	金属製消防団マーク入り 12mm

3 男性団員用 制服上衣・冬

型式	シングル合わせ、後面はセンターベンツ型とし、左腕に同色の標示章用台座を、右胸部に階級章用台座をそれぞれ概要図のとおり縫い付けること。 ボタンは金色金属製消防団マーク入り (20mm) とする。	
	上衣前面	ボタン3個を1行に付けること。ポケットは、左胸部及び下部左右に各1個を付け、下部左右ポケットにふたを付けること。
	上衣後面	裾の中央をセンターベンツ型とすること。
	上衣袖章	表反面に1条ないし3条の金色しま織線をまとうこと。
材料	黒の合成繊維の織物 (ニッケサージNo.8500又は同色、同品質以上のもの) とする。	

4 男性団員用 制服下衣・冬

型式	長ズボン、裾はシングル、腰部調整器具 (アジャスター) 付きとし、両脇織目になまこ織りの側章を付けること。 両側前方及び右後方に各1個のポケットを付けること。
材料	男性団員用制服上衣と同様とする。

5 男性団員用 制服上衣・夏

型式	カッター襟型肩章付き、長袖カフス式、前立て表額付き、左右胸ポケット雨蓋付き (ボタン止め)、左腕部分に同系色の標示章用台座を概要図のとおり縫い付けること。
----	---

主襟	テトロン芯を入れ、襟巾は背中央で4.5cm（襟台巾3.7cm）、襟先巾8.0cmとすること。
前立て巾等 （表額付）	表額付きとし、ボタンを5個付け、襟台にも穴をかがりボタンを付けること。額巾は4cmとする。
襟吊	襟吊は所定のものを襟付中央にはさみ縫付とすること。
身頃	前身のハギは認めない。
背部 （ヨーク）	2枚ハギとする。巾は中央部で7cm（ALサイズ）とし、表一条飾りミシン縫いとすること。（1枚は不可）
胸ポケット	胸ポケットは左右2個で雨蓋付きとし、ボタン止めとする。雨蓋には芯を入れ、巾中央で高さ6cm（端部で高さ4.5cm）、横巾14cmとする。胸ポケットは横巾13.5cm、深さ14.5cm、インダーツとすること。
ペン差し	左胸ポケット雨蓋前端より2cm内側に巾2cmのペン差しを付けること。
標示章用 台座	概要図の位置に標示章用マジックテープ台座を縫い付けること。
肩縫	片倒しくるみ縫いとすること。
脇縫	本縫し更にオーバーロックをかけること。（インターロックミシン可）
袖縫	袖の縫合せは本縫し、さらにオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）
袖付縫	本縫し更にオーバーロックをかけること。（インターロックミシン可）
袖口	長袖とし、ノボリ付きカフス巾6cm、ノボリの高さ15cmとする。 開き12cmとし、ボタンはカフスに2個、ノボリに1個取り付ける。
片布	上前胸ポケット裏面中央に所属・氏名等を記入できる片布を縫付け、その下に品質表示を縫付けること。
サイズネーム	襟付中央の下線に、はさみ縫付けること。

	階級章台座	下前身頃雨蓋付根、中央上部1.5cm上に、縦2.5cm、横4.0cmのマジックテープを四方縫付けること。
	肩章	巾は4.5cmとし、端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチを入れること。肩章の先は襟付根部とし、ボタンで止めること。
	裾折返し	裾は三ッ巻縫いとして、ワイシャツ式とすること。
材料	表地 配色	トロピカル(TA385) 制電性・制菌加工 綿20% 再生ポリエステル80% 色相 C/＃ 07 (指定色) (同色・同品質以上のもの)
	主襟 襟芯 襟巾	主襟にはテトロン芯を入れること。 襟巾は背中央で4.5cm (襟台巾3.7cm) 襟先巾8cm (同品質以上のもの)
	襟吊	襟吊は所定のものを襟付け中央にはさみ縫付
	縫糸	テトロン糸とする
	ボタン	機械付け又は手付け (表地と同色のもの)
	階級章台座	マジックテープ 25mm巾
	標示章台座	マジックテープ

6 男性団員用 制服下衣・夏

型式	長スラックス裾シングル型とする。	
	前タック	左右各2本外向きにつけ、ワンタックとする。
	ループ	巾1.0cm8本、概要図のとおり
	ポケット	斜めポケットとし、口巾15.0cm、深さ下止り閘より15.0cmを標準とする。 口巾・向当て布の断ち目は二つ折り縫い又はオーバーロックかがりとすること。 袋は地縫い返し、飾り縫い又は突合、二条縫いとし、右袋内に共生地で小物ポケットを縫い付けること。 ただし特殊なものについてはインターロックかがりでもよい。 左ポケット裏面に所属・氏名等を記入できる片布を縫付け、その下に品質表示を縫付けること。

ピスポケット	<p>上端より9.0cm下に口巾14.0cm、深さ18.0cmを標準とすること。</p> <p>片玉縁の切りポケットとすること。</p> <p>雨蓋は付けないで左側に鳩目穴をかがりボタンで止めること。</p>																
相引・内股	<p>脇縫いは環縫いとすること。</p> <p>内股は二重環縫いとすること。</p> <p>脇ポケット下門から上に15.0cm、下に10.0cm程度二重縫いとすること。</p> <p>ただし、太糸の一条縫い又は二重環縫いは、二重縫いとみなす。</p>																
尻縫・小股	<p>割縫いの場合は、二重縫いとすること。</p> <p>ただし、太糸の一条縫い又は二重環縫いは、二重縫いとみなす。</p>																
裏膝当て	裏膝当てをつけること。																
ウエスト	<p>腰裏・マーベルト等による表地の余り、ねじれないこと。</p> <p>腰線を美しく仕上げること。</p> <p>マーベルトのまつりによるひびきのないこと。</p>																
ファスナー	ファスナー付け止めを完全にし、開き下部にかな止めを入れること。																
ダーツ	<p>左右均等であること。</p> <p>ダーツ処理を完全にすること。</p>																
針目数	<p>運針数は3.0cm間の縫い数を表す。(飾り加工縫いを除く。)</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 地縫い</td> <td>12針以上</td> </tr> <tr> <td>薄地・その他の特殊素材の場合</td> <td>10針以上</td> </tr> <tr> <td>(2) すくい縫い</td> <td>5針以上</td> </tr> <tr> <td>(3) 環縫い</td> <td>10針以上</td> </tr> <tr> <td>オーバーロックかがり縫い</td> <td>8針以上</td> </tr> <tr> <td>インターロック縫い</td> <td>10針以上</td> </tr> <tr> <td>(4) ベルト・ファスナー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウエストまつり</td> <td>7針以上</td> </tr> </table> <p>その他特殊な生地を使用した場合は、使用生地に適した運針数であること。</p>	(1) 地縫い	12針以上	薄地・その他の特殊素材の場合	10針以上	(2) すくい縫い	5針以上	(3) 環縫い	10針以上	オーバーロックかがり縫い	8針以上	インターロック縫い	10針以上	(4) ベルト・ファスナー		ウエストまつり	7針以上
(1) 地縫い	12針以上																
薄地・その他の特殊素材の場合	10針以上																
(2) すくい縫い	5針以上																
(3) 環縫い	10針以上																
オーバーロックかがり縫い	8針以上																
インターロック縫い	10針以上																
(4) ベルト・ファスナー																	
ウエストまつり	7針以上																

	袖付縫	本縫し更にオーバーロックをかけること。（インターロックミシン可）
	ボタン付け	手付け・・・2本の糸で1つ穴に2回以上（生地共）通し、根巻きは使用生地に適した回数（2～4回）とし、糸止めを完全にすること。 ただし、足付きボタン及び飾りボタンの根巻きについては、少量とするか根巻きはしないこと。 機械付け・・・手付けに準じた強度とし、糸止めを完全にすること。
	穴かがり	鳩目穴は別門付又は流れ止めとすること。 ねむり穴については両止め4回以上行うこと。
	柄合わせ	前面は上前・下前を合わせること。 後面は尻縫い左右を合わせること。 相引はひざ部を合わせること。 脇ポケットは斜めの場合、向当て布は前身頃に合わせてすること。
	ライン	前中心は地の目を通すこと。 後中心は膝部より下は地の目を通すこと。但し、特別のパターンについてはその限りでない。
	縫い代	相引き、内股、尻上端及び尻下端は0.8cm以上とすること。
	裾	裾仕上げのものは、表にひびかないようにまつること。また、ミシンの縫いつれのしないこと。
材料	前身頃、後身頃 前立て、天狗、帯 ポケット向当て ループ	トロピカル（TKM300） 制電性・抗菌消臭繊維織込み レーヨン30% ナイロン10% 再生ポリエステル55% ポリエステル5% 色相 C/＃ TMA55（色指定） （同色・同品質以上のもの）
	帯、ポケット袋	マーベルト／袋地 構成 ポリエステル65% 綿35% 品番 ニッケ #7500 C/＃ クリーム （同色・同品質以上のもの）

	前立て	ファスナー
	帯芯	オビ芯
	前止め	前環
	天狗鼻、ピス ポケット	ポリボタン 15mm（表地と同色のもの）

7 男性団員用 ワイシャツ

型式	シングル前で、ボタンは、6個付きとする。 肩ヨーク切り替えとする。	
	襟	台襟付きシャツカラーとする。
	ポケット	左胸にアウトポケットを付ける。
	袖口	剣ポロ明き及び袖カフス付きとし、ボタンを付ける。
材料	色	白色
	混紡率	おおむね、ポリエステル65%、綿35%とする。

8 男性団員用 外とう

型式	フード付きハーフコート型とし、概要図のとおりとする。	
	刺繍	左胸部に銀ねず色の刺繍糸にて「草加市消防団」と刺繍すること。
	襟	高質ボア付兼用襟とすること。元襟とボアカバー（紺）とは、ループボタンにて止めること。
	胸ポケット	左右胸部に各1個付けること。切り替え式で雨ブタ無し、ファスナー止めとすること。
	腰ポケット	雨ブタ付きとし、マジックテープで止めとすること。 ボックスプリーツアウトポケットとすること。 左右腰部にそれぞれ1個付けること。
	袖	袖口の内部に、ジャージ（ナイロン100%）防寒袖を付け、二重袖とすること。
	肩章	両肩にスナップボタン止め肩章を付けること。
	前開部 その他	前部は5個のスナップボタンとファスナーを付けること。 裏地はキルティングの防寒布を縫い付けること。 背脇にループを2ヶ付け（共生地）バックル付きとすること。

材料	主材料	東レテトロン ツイル (消臭繊維 コスメル全面混入) 品番 #4393 (撥水加工) 色相 紺 (トップ染) 混紡率 ポリエステル (東レテトロン) 65% レーヨン 25% ナイロン (東レコスメル) 10% 炭素配列有機導電性繊維 (SA-7) 全面混入 ニッケ (S8902C) C/＃ (主材料等は同色、同品質以上のものとする。)
	副材料	使用糸番 経34/2 緯34/2
		仕上の密度 経112本 緯54本/吋

9 男性団員用 ネクタイ

型式	概要図のとおりとする。
色	オレンジ色を基本としたストライプ及び消防団マーク入りとする。
材料	国産品とし、ポリエステル100%とする。

10 女性団員用 制帽・冬

材料	表地	エコストレッチサージ 毛 50% 再生ポリエステル50% 静電性繊維入り 色相5.6PB 明度1.7 彩度1.0 標準色に対して色差0.5以下 濃紺(同色・同品質以上のもの)
	裏地	黒色 サテン #8000
	頭芯	ケンマ草 #DBF-100
	ツバ芯	ケンマ草 #DBF-100
	スベリ	黒 #1
	ゴム	黒 #丸ゴム-1mm
	クシ	黒 #SP-1 (5ツ山)

11 女性団員用 制服上衣・冬

型式	テーラーカラー肩章付、四つボタン、サイドベンツ式とし、左腕に上衣と同色の標示章用台座を、右胸部に階級章用台座をそれぞれ概要図のとおり縫い付けること。
----	--

材料	表地	エコストレッチサージ 毛 50% 再生ポリエステル50% 静電性繊維入り 色相5.6 P B 明度1.7 彩度1.0 標準色に対して色差0.5以下 濃紺 (同色・同品質以上のもの)
	地縫い、ステッチ	ポリエステル100% 表地同色 #50
	釦付け糸	ポリエステル100% 表地同色 #30
	ボタン	真鍮21mm 4個 シルバー
	標示章用台座	YKKマジックテープ (表地と同色)

12 女性団員用 制服下衣・冬

型式	長ズボン裾シングル型、後ウエストゴム入り、両脇斜め切り替えポケット、ツータック式とする。	
材料	表地	エコストレッチサージ 毛 50% 再生ポリエステル50% 静電性繊維入り 色相5.6 P B 明度1.7 彩度1.0 標準色に対して色差0.5以下 濃紺(同色・同品質以上のもの)
	縫糸(地縫い)	ポリエステル100% 表地同色 #50
	縫糸(ボタン付)	ポリエステル100% 表地同色 #30
	ボタン	ポリエステル15mm 3個 表地同色
	ファスナー	YKK20cm

13 女性団員用 ブラウス

型式	東京消防庁式Yシャツ(同色同等品以上)とする。 肩ヨーク切り替えとする。	
	襟	台襟付きシャツカラーとする。
	ポケット	左胸にアウトポケットを付ける。
	袖口	剣ポロ明き及び袖カフス付きとし、ボタンを付ける。
材料	色	白色
	混紡率	おおむね、ポリエステル65%、綿35%とする。

14 女性団員用 外とうブルゾン

型式	ブルゾン型とし、形状は概要図のとおりとする。 背部に「S O K A」の文字をプリントすること。	
襟	不織布接着芯を入れ波刺し一本付き襟幅は中央で約10cm、襟先12cmで飾りステッチ仕上げとすること。襟表はネイビー、襟裏はオレンジとすること。	
脇ポケット	表生地の不織布接着芯入り雨蓋付きポケットとし、押しホック止めとすること。形状は、箱ポケットの上に切りポケットを重ね縫いとすること（ハンドウォーマー）。切りポケット向当ては、オレンジ色とすること。両方ともポケット口は環止めとすること。	
前身頃	前身頃は左右各二枚裁ちとすること。両前中央にデルリンファスナーを襟上部まで挟み縫いする下部は左右とも環止めをすること。右下前と左上前に不織布接着芯入りの額を縫い付け各々押しフック5個を打つこと。前身上部にハギを入れ地縫いし、ステッチすること。額の裏側、見返しはオレンジとすること。	
後身頃	後身頃は一枚ハギとし、背ヨークはハギなしで中央高さ約18cmとすること。後見頃と背ヨークは地縫いをし、表のみ約0.5cmの飾りステッチとすること。	
袖	袖は3枚ハギとし、肘ぐせをとり袖口は水かき付きカフス形状で45mmの平ゴムで絞り、調整用の押しフックを2個付けること。左袖付け中心より約5cm下りに10cm×14.5cmの張りポケットを付け、左横側はデルリンファスナーにより開閉式とすること。張りポケットの上に6cm×12cmのペン差しを重ね縫いし中央にステッチを掛けること。	
裾周り	表生地中央部より11cmの所まで左右ゴムなし、それ以外は生地ゆりみを持たせた50mmの平ゴムを入れ収縮性をだし、しぼりとすること。	

	中綿	身頃、袖共裏側全面にアイザックキルトを使うこと。
	片布	左前身頃下部に片布を縫い付けること。
	反射プリント	撥水反射ラバータイプ反射プリント（シルバーK211）
材料	表地	テイジン シルモンドツイル T85449 150cm×50cm 乱
		混紡率 ポリエステル100%
		織組織 綾織
		密度 190×105 /2.54cm間
		重さ 190g _v /m ²
		耐水性 L20 100点
		漏水性 Lo500～600mm
		堅牢度 水圧300mm、4hrs 漏水なし
		その他 導電繊維混入
	裏地	アイザック（IP-100） 100g/m ² T-32100 C/＃94 色相 グレー （テトロンタフタ） ポリエステル100%
ファスナー（前立）	5VS DA7SP(N) ブルー	
ファスナー（袖）	3VS DFDR(止) ブルー	
ボタン	P6Nナイロンホック ブルー	
縫製糸	ポリエステル100% 50番	

15 女性団員用 ネクタイ

型式	概要図のとおりとする。
色	オレンジ色を基本としたストライプ及び消防団マーク入りとする。
材料	国産品とし、ポリエステル100%とする。

16 活動服上衣

型式	台衿付シャツカラー、左上前、身頃及び袖配色切替、前立て比翼ファスナー開き（面ファスナー4ヶ所止め）、両胸フラップ付きアウトポケット（面ファスナー止め）、左袖ペンポケット、右胸階級章台座付き、左胸刺繍ネーム入り、袖口ファスナー開き、肩章（ボタン止め）、背ヨーク部シルバー反射と蓄光パイピング入り、背ヨーク白色シルク印刷入り、右袖にワッペン台座を概要図のとおり取り付けること。	
主衿	台衿付シャツカラーとし、衿には芯を入れ、衿巾は背中央で8cm（衿台巾4cm）衿先巾約8cmとする。	
身頃	前身は3枚ハギとし、バストライン及び中胴部で縫い合わせる。縫い糸の色については、生地に合わせて縫い糸を使用し、中胴部のオレンジ生地の上にブルーの縫い糸は認めない。必ずブルーとオレンジの糸にて切り替えること。	
衿吊	衿吊は所定のものを衿付き中央にはさみ縫い付とする。	
胸ポケット	胸ポケットは左右2個で雨蓋付きとし、面ファスナー止めとする。表にミシン目が出ないように縫い付けること。雨蓋は、はさみ付けとし、切り返しはオーバーロック掛けとする。アウトポケット（ヒダなし）とし、雨蓋及びポケットの切り替え部は副生地オレンジを使用する。ポケットは副生地オレンジとブルー生地の各切り替え生地に合わせる。（オレンジ生地部にブルーのミシンステッチは不可とする。）	
ペン差し	左胸ポケットの雨蓋前端より2cm内側に巾2cmのペン差しを付ける。左袖上部配色部にペン差し（2本入り）を付ける。	
前立て	前立ては比翼ファスナー仕立てとし、面ファスナーを4ヶ所縫い付ける。	

背部 (ヨーク)	3枚ハギとする。ヨーク切り替えとし、背ヨークブルー生地下にシルバーの反射パイピングを施し、胸部周りは配色のオレンジとし、下部は本体ブルー生地とする。
刺繍	左胸ポケット雨蓋上部に「草加市消防団」の文字を刺繍する。刺繍色・字体詳細は別途協議すること。
脇縫い	本縫いし更にオーバーロックをかける。
袖縫い	両袖は肘部上部で配色オレンジ生地切り替えとし、オレンジ生地下部を後部配色オレンジ生地使用ラインと合わせる。袖の縫い合わせは本縫いし、更にオーバーロックをかける。
袖付け縫い	本縫し更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可。)
袖口	袖口ファスナー開閉式とする。その際、ファスナーが見えないように縫製する。
片布	上前胸ポケット裏面中央に所属・名前等を記入できる片布を縫い付け、その下に品質表示を縫い付ける。
サイズネーム	衿付中央の下線に、はさみ縫い付ける。
階級章台座	下前身頃雨蓋付根中央上部1.5cm上に縦3.0cm横4.5cmの面ファスナーを縫い付ける。
肩章	巾は4.5cmとし、肩章の端を袖付けの縫目に縫い込み、クロスステッチを入れる。肩章の先は衿付根部より1.5cm下がった位置とする。
裾折返し	裾は三ッ折り縫いとし、水平タイプとする。
バックプリント	背ヨーク部ブルー生地部に指定デザインをプリントする。文字の大きさ・色・字体等、詳細については、別途協議する。
その他	女性用の打ち合わせは、右上前とし他は男性と同様とする。

材料	表生地材料	東レ オールシーズン 制電、先染め、抗菌消臭 難燃ストレッチタッサー(#3500S)通年専用素材 静電防止素材（導電性カーボン系全面混入） 抗菌・消臭繊維織り込み（加工は不可） 伸長率 23%以上 LOI値 28.0以上 ※夏用素材、冬用素材は不可とする。 （同色、同品質以上のもの。）
	混紡率	モグクリル難燃繊維 48% ポリエステル 40% ナイロン（消臭繊維）10% ポリウレタン 2% （同品質以上のもの。）
	色相	青色系
	使用副生地材料	ア 素材：表生地材料と同一規格 イ 混紡率：表生地材料と同一混紡率 ウ 色 相：オレンジ（指定色）
	ボタン	15mm

17 活動服下衣

型式	ワンタック、前ファスナー開き、カン止め、下前天狗仕様、両腰切ポケット（右のみコインポケット付き）、後ろ両腰ピスポケット（左のみフラップ付きボタン止め）、両腰フラップ付きカーゴポケット（面ファスナー止め）、ポケット底及び後ろ脇にマチ入り（マチ部オレンジ配色仕様）、カーゴポケットフラップマジック止め（配色）、股下は採寸実施、レール式アジャスター仕様（ゴム式不可）、尻合わせ部・脇部片倒しステッチ縫製（割縫不可）
前タック	左右各1本を外向けに付け、ワンタックとする。
腰帯	帯巾3.5cm仕上がり寸法とし、芯地を入れ、裏はマーベルと（滑り止め）を付ける。
ループ	上部より1.0cm下にループ巾2.0cm長さ5.0cmのループを8本付ける。ただし、後ろ中心のループは2本とする。

両脇ポケット	ポケットは斜め口とし、ズボン上端より5.0cm下がりとし、ポケットの口巾は15.0cmとし、両脇口の箇所0.6cmの飾りを掛ける。両脇に雨蓋付き2方箱形ポケットを縫い付け、雨蓋はオレンジの副生地を使用し面ファスナー止めとし、ミシン目が表にでないようにする。ポケット部は本体ブルー生地を使用し、2方マチ部にはオレンジの副生地を使用する。
尻ポケット	片玉にて左右ポケットを付け、左ポケットは雨蓋付きのボタン止めとする。ポケット両口端には、それぞれ閉止めとする。
脇縫い	強度確保のため、片倒しステッチ縫いとする。 (割縫いは不可)
相引き ・ 内股尻縫い	裁ち目はオーバーロック、内股、尻縫いはミシンで2回縫いし、特に尻縫いは、パンク破れ防止、強度確保のため、片倒しステッチ縫いとする。割縫いは不可とする。
棒シック	袋地使用、尻縫い目に長さ10.0cm、巾2.0cmのものを付ける。
裾口	ハーフ仕立てとし、裾上げ用の熱圧着テープを付ける。
片布	脇ポケット裏に上衣と同等の片布を付ける。
サイズネーム	片布下部に取り付ける。
穴かがり	機械穴、鳩目とする。
アジャスター	ウエスト部には、樹脂製のレール式アジャスターを取り付け、ウエスト寸法を±4.0cm調整が可能とすること。
材料	活動服上衣と同様とする。

18 バンド制服用

型式	おおむね概要図のとおりとする。
色及び 地質	黒色のナイロン製とする。 バンド端部にほつれ止め金具を付ける。 金具中央に消防団章を付け、銀色とする。 長さは100cm、120cm、140cmとする。

19 バンド活動服用

型式	おおむね概要図のとおりとする。
色及び地質	オレンジ色のナイロン製とする。 バンド端部にほつれ止め金具を付ける。 金具中央に消防団章を付け、銀色とする。 長さは100cm、120cm、140cmとする。

20 樹脂製階級章

材料	本体は樹脂製とし、裏面はマジックテープとする。
----	-------------------------

21 保安帽

型式	おおむね概要図のとおりとする。 北川工業（株）保安帽FM5-EI-L5と同等品以上とする。	
	条件	保護帽の規格（平成3年労働省告示第39号改正）の飛来、落下物及び墜落時による危険防止をするためのすべての条件を満足する性能を有する堅ろうなものであるとともに、耐熱性、耐低温性がよく、耐食性がよいものであること。
	き章	金色ビニール製消防章とし、帽体に直接付着できるものとし、形状及び寸法は概要図のとおりとする。
	シール貼付	帽体の両側面に消防団指定のシール（草加市消防団）を貼ること。
	ヘッドバンド	ポリエチレン樹脂製で後部にてサイズ調整可能なものであること。
	あごひも	ワンタッチ式あごひも縁ゴム巻、ビラカン付全周吸湿性汗止め、合成樹脂あごあて付きとすること。
	周章	周章の形状及び寸法は概要図のとおりとする。 周章下面に幅3.0cmの反射テープを貼ること。
材料	帽体	FRP製（ポリエステル樹脂による強化プラスチック製）とすること。
	衝撃吸収ライナー	発砲スチロール製とすること。

22 作業帽

型式	作業帽のデザインは、アポロキャップ形式とする。 おおむね概要図のとおりとする。
----	--

	前立部	前立部で切り替え、各天面と緩やかなアーチ状にて縫合する。割縫いとし、裏面は始末テープをつけ、飾ステッチをかける。
	天井面	天井面は、6方型とし、各縫合部は地縫いする。割縫いとし、裏面は始末テープを付け、飾りステッチを掛ける。
	庇	表裏を縫い合わせ、カーブ曲げ加工を施した芯とする。表面と裏面の間には配色生地を挟み込む。庇本体には、指定デザインの月桂樹刺繍を施す。刺繍糸は、金糸とする。
	汗取り	肌触りの良い素材にて内側下端に縫合する。
	アジャスター	後部中部にはサイズ調整用のアジャスターを装備する。中央左側に1.5cm巾の共生地のアジャスタータブをはさみこみ、縫い付ける。タブの先端はループ状とシアジャスタースライダーを取り付ける。中央右側には、レールを縫いつけ、±3cmの調整が可能である事。
	天ボタン	天井中央部には、共生地を丸くくるんだ天ボタンを1個装着する。
	前立て部刺繍	指定のデザインを指示通り刺繍する事。詳細は概要図のとおりとし、事前に承認を得てから本生産にかかる事。
	氏名片布	汗取りに縫着または熱接着し、容易にはがれないものとする。
	サイズ	サイズはS、M、L、LL、3Lの5サイズとする。
材料	素材	東レ オールシーズン 制電、先染め、抗菌消臭 難燃ストレッチタッサー (#3500S) 通年専用素材 静電防止素材 (導電性カーボン系全面混入) 抗菌・消臭繊維織り込み (加工は不可) 伸長率 23%以上 難燃性 (LOI値) 28.0以上 ※夏用トロピカル素材、冬用ツイル素材は不可とする。
	衝撃吸収ライナー	発泡スチロール製とすること。

	混紡率	モダクリル難燃繊維 48% ポリエステル 40% ナイロン(消臭繊維) 10% ポリウレタン 2%
	色相	青色系とする。
	裏地	厚手のT/C素材とし、黒色の接着可能な芯であること。
	庇芯	曲げ加工を施した硬質な庇芯を使用する事。
	縫製糸	スパン糸を使用する。

23 白手袋

型式	手首部の内側にボタン止め出来る構造とする。 手の甲に3本の飾り模様があるものとする。
材料	生地はナイロン100%とし、色はホワイトとする。 ボタンはプラスチック製のものとする。
サイズ	サイズは、S・M・L・LLとする。

24 標示章

型式	おおむね概要図のとおりとする。
材料	裏面はマジックテープとする。

25 革手袋

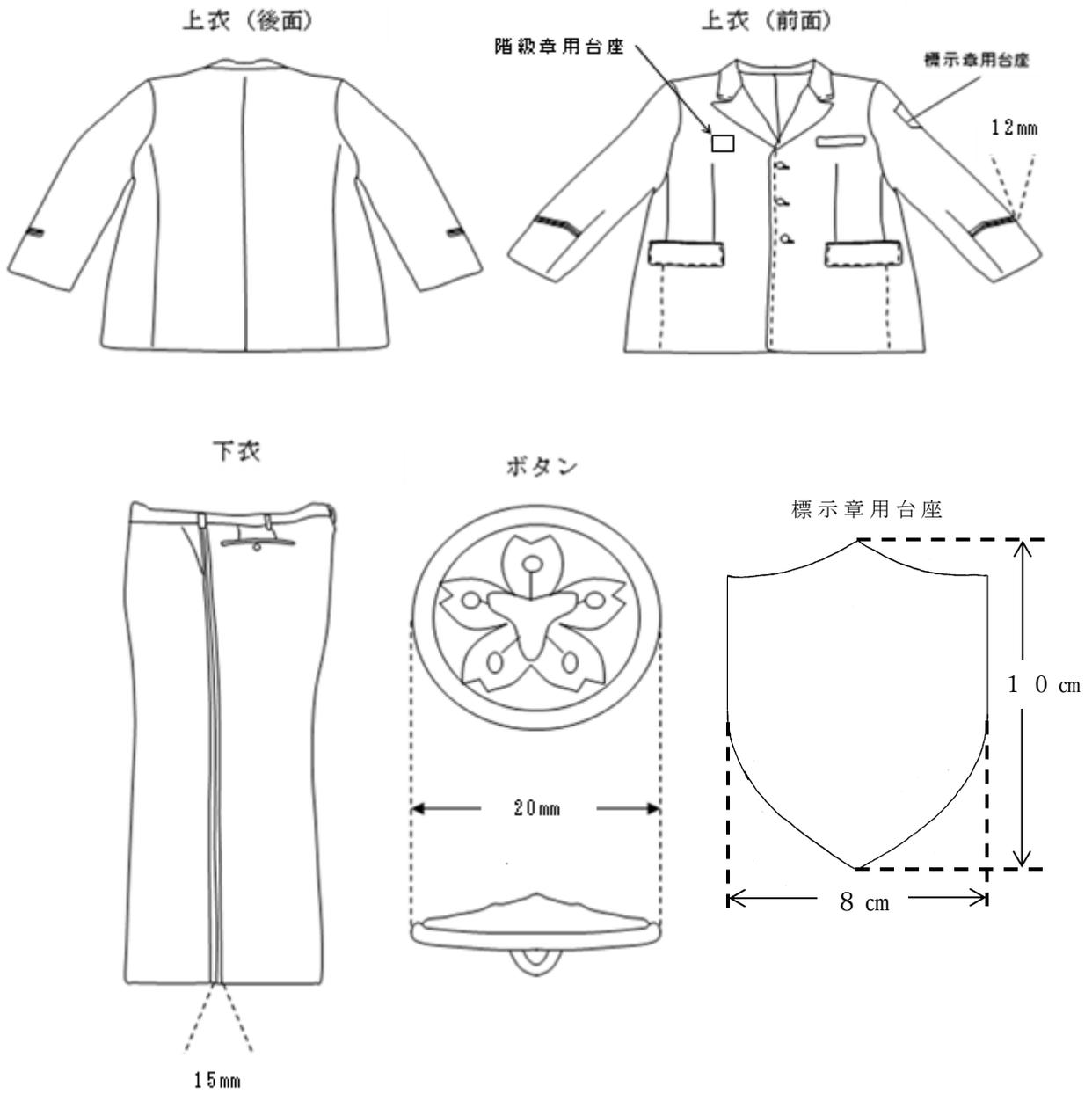
型式	主要基革は、牛革で、摩耗の激しい部分の手の平に補強するものとし、並びに手の平の補強部分には滑り止め牛革を使用することとし、マジックファスナーにより締め付ける構造とする。	
	サイズ	サイズは、SS、S、M、L、LLとする。
	その他	撥水加工及び水洗いが可能なものとする。 手の甲部分に消防団マーク入りとする。
材料	手の甲	牛革（ホワイト）と同色、同品質以上 厚さ 0.5～0.7mm
	手の平	牛革（ホワイト）と同色、同品質以上 厚さ 0.5～0.7mm 二重補強

26 襟章

型式	消防団員の階級を漢字で表記すること。 縦30mm、横15mmとすること。
材料	金属製とする

【概要図】

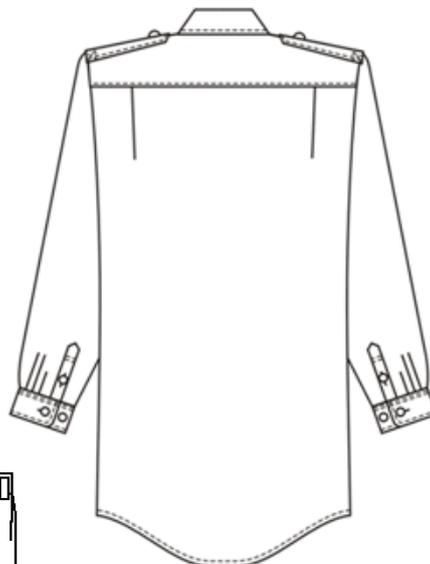
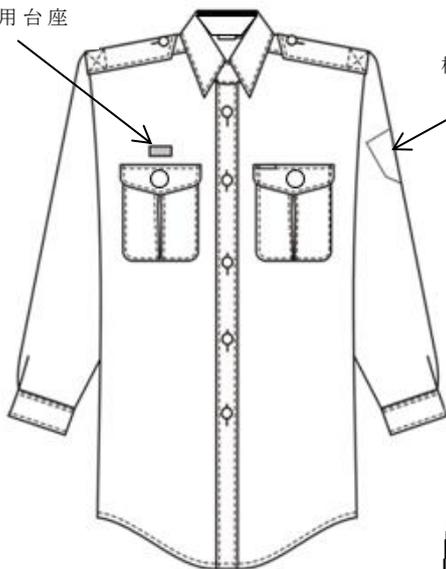
男性団員用 制服上下・冬



男性団員用 制服・夏

階級章用台座

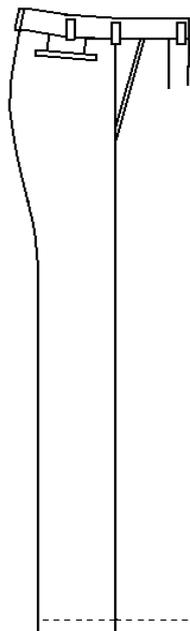
標示章用台座



上衣 前面

上衣 後面

下衣



男性団員用 外とう



銀ねず色刺繍文字（実物大）

草加市消防団

ネクタイ 男性用



ネクタイ 女性用



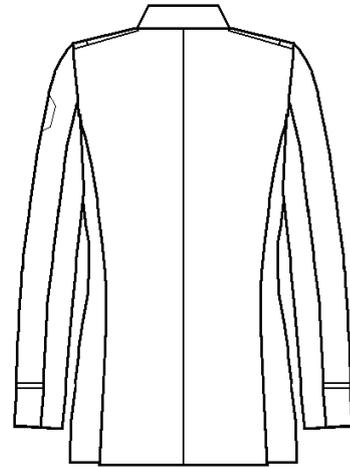
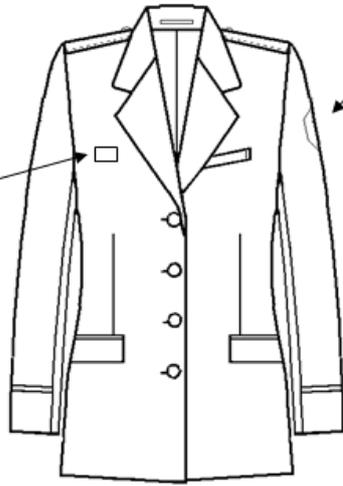
女性団員用 制服上衣・冬

上衣 前面

標示章用台座

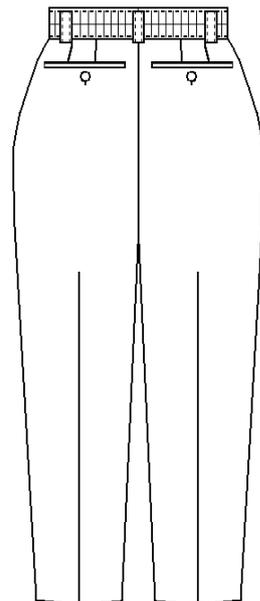
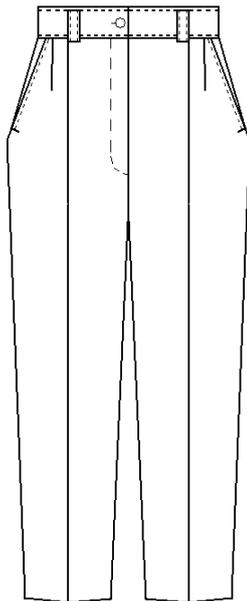
上衣 後面

階級章用台座

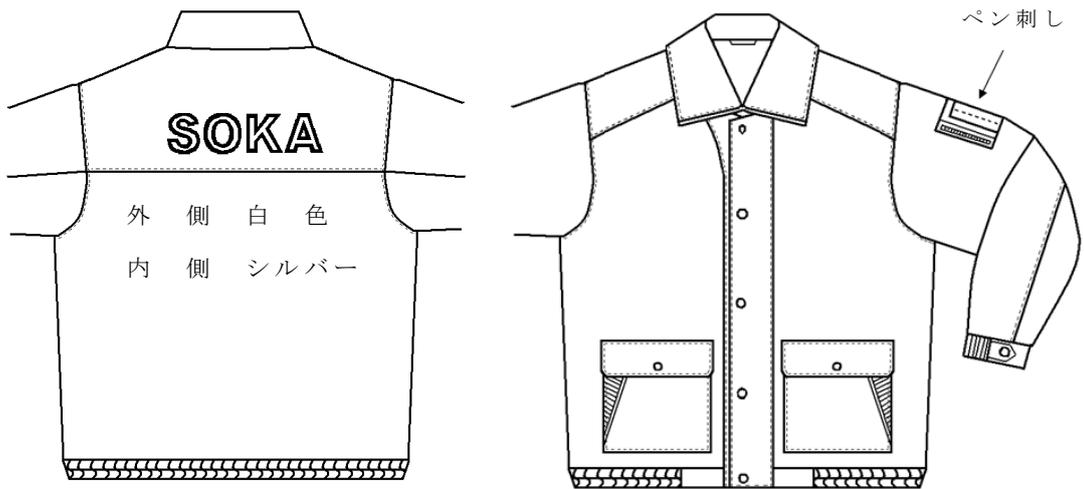


下衣 前面

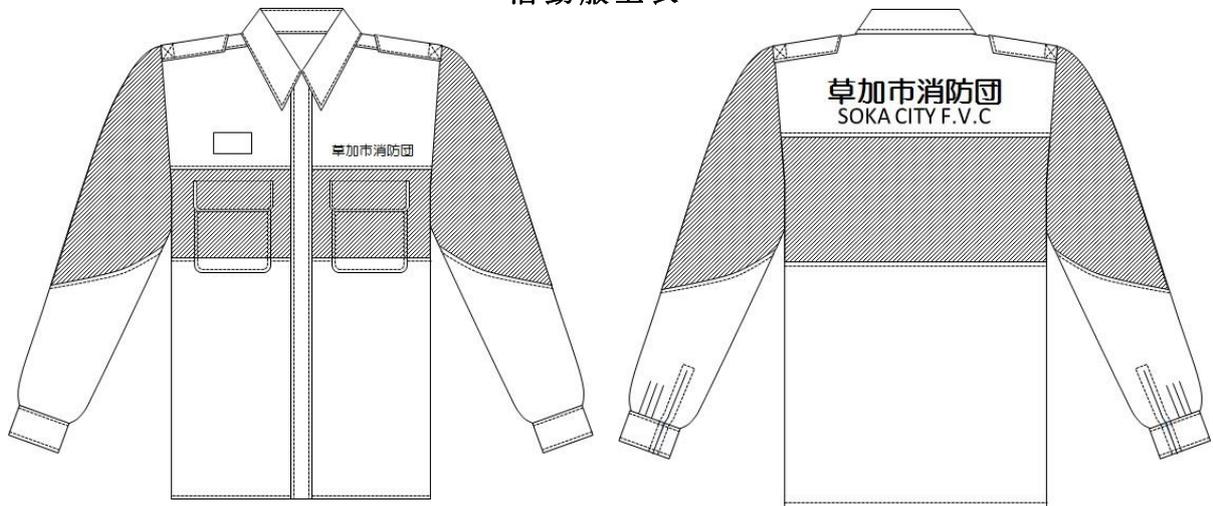
下衣 後面



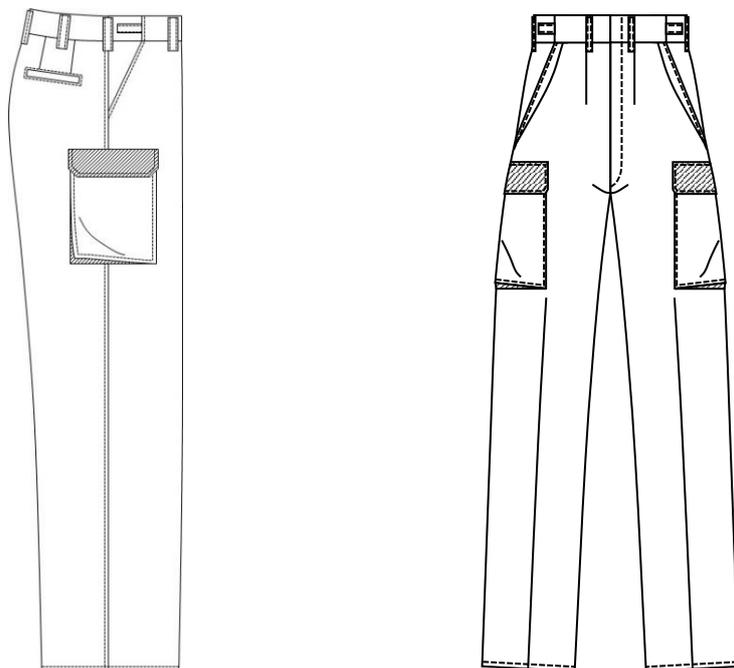
女性団員用 外とうブルゾン



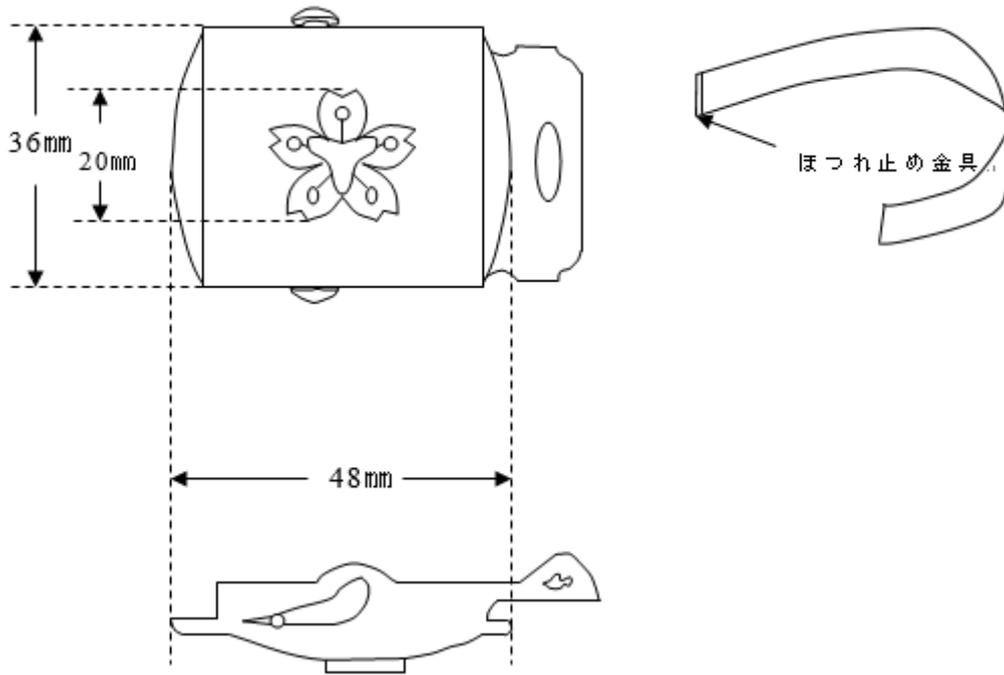
活動服上衣



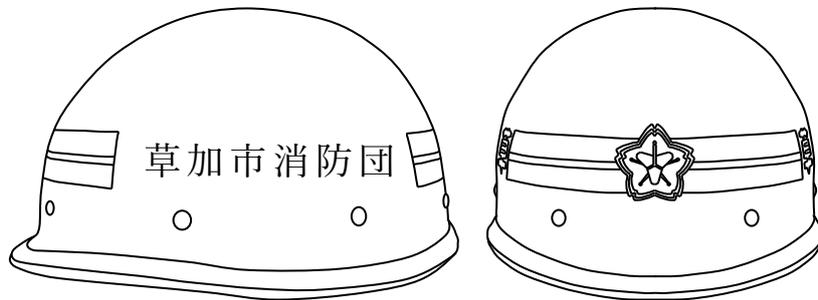
活動服下衣



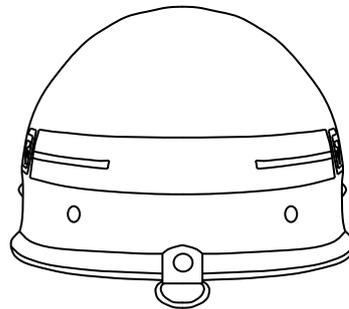
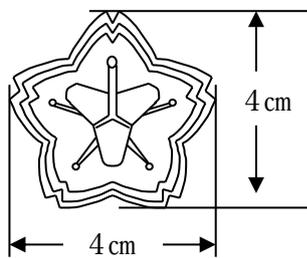
バンド（制服・活動服）



保安帽

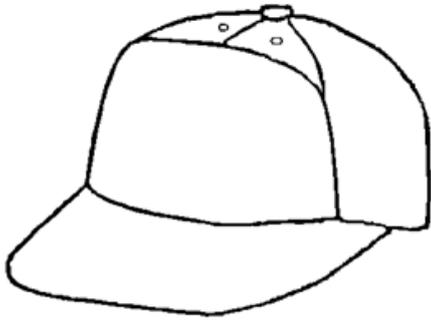


き章

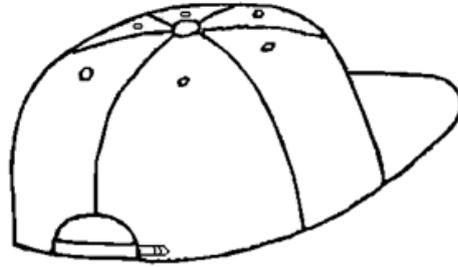


作業帽

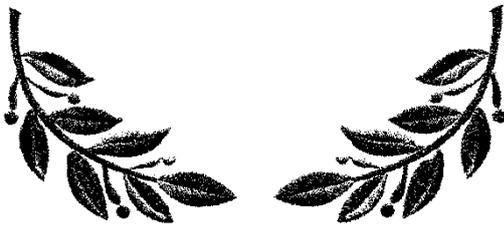
前面



後面



ひさし部分刺繍



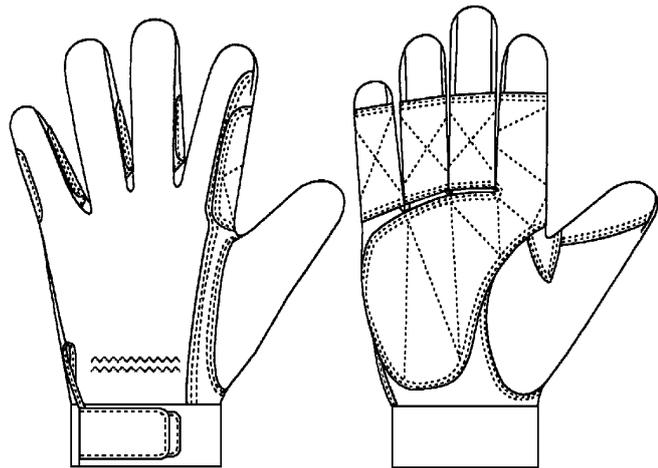
前面部分刺繍



標示章



革手袋



別記

外部委託における情報セキュリティ遵守事項

1. 基本事項

草加八潮消防組合は、保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、消防組合が実施する情報セキュリティ対策の基本的事項を「情報セキュリティ基本方針」として定めている。また、当該セキュリティ対策の有効性及び効率性の確保を目的として、遵守すべき行為、判断等に関する基本的事項を「情報セキュリティ対策基準」として定めている。

消防組合の情報資産を取扱う業務の受注者は、当該基本方針及び対策基準の適用範囲に含まれることから、次の事項を遵守し、消防組合の情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するよう努めなければならない。

2. 情報の分類

受注者は、原則として次の分類を行った上で、情報を保護すること。

消防組合保有情報	消防組合から貸与された情報のこと。
重要情報	消防組合から貸与された情報の内、個人情報、特定個人情報及び非公開情報を含む情報のこと。

3. 情報の保護

受注者は、次の対策に努めること。

共通	<ul style="list-style-type: none">➤ 消防組合の承諾なしに、消防組合保有情報の一部又は全部を第三者へ提供することのない制御すること。
消防組合保有情報	<ul style="list-style-type: none">➤ 消防組合保有情報を取扱う作業従事者を明確にし、その範囲内でのみ取扱うよう制御すること。➤ 消防組合保有情報を保管する場所は、作業従事者のみが取扱えるよう制御すること。➤ 契約満了時等で消防組合保有情報を消防組合へ返却する際は、受注者内にデータ等が残らないよう消去する手順が確立すること。➤ 消防組合保有情報を受注者のファイルサーバ等で電子データとして保有する場合、作業従事者のみがアクセスできるよう制御すること。➤ 消防組合保有情報を作業従事者が消防組合に無断で持ち出すことがないよう管理を徹底すること。➤ 消防組合保有情報を消防組合と電子メールでやり取りする場合、暗号化等の情報漏えい対策を行った上でやり取りすること。➤ 消防組合保有情報を運搬することがある場合、盗難及び紛失対策を行った上でやり取りすること。
重要情報	<p>【消防組合保有情報における制限に加えて】</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 業務従事者のパソコンは、関係者以外からの覗き見防止等の対策を行うこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 業務従事者が USB メモリ等の電磁的記録媒体を使って不正に情報がコピーされないよう適切に制御すること。 ➤ 業務従事者のパソコンは、OS 等を最新の状態とすること。ただし、システムの動作検証のため、過去のOSを使用する必要があるなど、理由がある場合については、この限りでない。 ➤ 業務従事者のパソコンは、盗難及び紛失時にデータが漏えいしないよう対策が施すこと。
--	--

4. ネットワークの強靱化対策

受注者は、重要情報を取扱う作業環境を様々な情報セキュリティリスクから保護しなければならない。また、特定個人情報を取扱う環境はインターネットから分離した環境を用意し、そこでのみ取扱うこと。その他、総務省が発行する「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（以下「総務省ガイドライン」という。）」で示された基準を遵守すること。

5. 物理的セキュリティ

受注者は、原則として次の物理的対策を講じること。

管理区域	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サーバ等の機器を設置する場所は、管理区域とし管理すること。 ➤ 外部に通ずるドアは必要最小限とし、鍵、監視機能、警報装置等によって許可されていない立ち入りを防止すること。 ➤ 管理区域への入室は、入退室を許可された者のみに制限し、ICカード、指紋認証等の生体認証や入退室管理簿の記載による入退室管理を行うこと。 ➤ 管理区域に入室する場合、身分証明書等を携帯し、求めにより提示すること。 ➤ 当該情報システムに関連しない、または個人所有であるコンピュータ、モバイル端末、通信回線装置、電磁的記録媒体等を持ち込ませないこと。
装置のセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サーバ等の機器の取付けを行う場合、火災、水害、埃、振動、温度、湿度等の影響を可能な限り排除した場所に設置し、容易に取り外せないよう適正に固定する等、必要な措置を講じること。 ➤ 通信ケーブル及び電源ケーブルの損傷等を防止するために、配線収納管を使用する等必要な措置を講じること。 ➤ 電磁的記録媒体を内蔵する機器を受注者以外に修理させる場合、内容を消去した状態で行わせなければならない。内容を消去できない場合、管理責任者は、外部の事業者へ故障を修理させるにあたり、修理を行う事業者との間で、守秘義務契約を締結するほか、秘密保持体制の確認等を行うこと。
通信回線・機器	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ネットワークに使用する回線について、伝送途上に情報が破壊、盗聴、改ざん、消去等が生じないように十分なセキュリティ対策を実施すること。 ➤ 外部へのネットワーク接続を必要最低限に限定し、できる限り接続ポイントを減らすこと。

6. 人的セキュリティ

受注者は、業務従事者に対し必要な情報セキュリティ教育・トレーニングを行うこと。また、消防組合の求めに応じてその実施記録の提示を行うこと。なお、業務従事者に対し、異動、退職等により業務を離れる場合には、利用していた機器等を返却させるとともに、その後も業務上知り得た情報を漏らしてはならない旨を合意させること。

7. 技術的セキュリティ

受注者は、次の情報セキュリティ対策を行うこと。

アクセス制御	<ul style="list-style-type: none">➤ 原則として、情報システム及びパソコンを使用する際は、業務従事者ごとに ID を発行すること。➤ 業務従事者の ID は、本人以外がアクセスできないよう認証方法は最良の方法を選択すること。
開発・導入	<ul style="list-style-type: none">➤ 開発で用いる環境に対して、管理責任者の管理の元で適切な対策を行うこと。➤ システム開発の責任者及び作業者が使用する ID を管理し、開発完了後、開発用 ID を削除すること。➤ システム開発、保守及びテスト環境とシステム運用環境を分離すること。➤ 重要情報を、テストデータに使用しないこと。
不正プログラム対策	<ul style="list-style-type: none">➤ 業務従事者が操作するパソコン等は、コンピュータウイルス等の不正プログラム対策ソフトウェアを導入し、パソコン等に常駐させること。➤ 不正プログラム対策ソフトウェアのパターンファイルは、常に最新の状態に保つこと。
不正アクセス対策	<ul style="list-style-type: none">➤ 外部からの不正アクセス及び内部不正に備え、情報漏えいを防止するために必要な対策を講じること。➤ 不正通信、不正操作等を牽制するための必要な監視を行うこと。

8. 監査等への協力

受注者は、消防組合の求めに応じて立入検査等に応じること。

9. その他

受注者は、上記以外の基準が必要となった場合は、総務省ガイドラインを参照するとともに、消防組合と協議し対策を行うこと。

以上